

文書番号:M1TB-1QA8821C0006

2017 年 6 月 9 日

アンリツ株式会社

MT8821C WannaCrypt(ランサムウェア)対応 セキュリティ更新プログラム インストール手順書

1. 概要





本書は、MT8821C(以下、本器)に搭載している Windows Embedded standard 7(WES7) に対し、Microsoft 社が公開している WannaCrypt*(ランサムウェア) 対応のセキュリティ更新プログラムをインストールする手順を説明します。

* WannaCry, WannaCryptor, Wery 等とも呼ばれます。

本器が WannaCrypt に感染している場合は、まずはシステムリカバリを実行した上で、セキュリティ更新プログラムを適用してください。

参照:4 本器がランサムウェアに感染している状態の場合の復旧手順

2. 作業のながれ

3.1	準備.....	2
		
3.2	更新プログラムの入手.....	3
		
3.3	本器へのインストール準備	4
		
3.4	本器へのインストール	6
		
3.5	インストール後の確認	7

3. 作業方法

3.1 準備

1. インストール作業に必要な機器

下記の機器が必要となります。

- ・ インターネットに接続可能な PC
- ・ セキュリティ機能がなく、本器と PC の両方で使用可能な USB メモリ。
- ・ マウスとキーボード(本器の操作用)

作業を始める前に、本器に対してマウスとキーボードを接続してください。

注意:

PC, USBメモリとも、事前にウイルスチェックを実施してください。

2. 重要ファイルのバックアップ

インストール作業中のトラブルに備え、お客様が本器に作成した重要なデータ*のバックアップを USB メモリなど本器以外の外部デバイスに作成することを強くお勧めします。

* Screen Copy 機能で取得した画面コピーや Parameter Save 機能で保存したパラメータ設定ファイルなどは、USB メモリを装着していない場合 Volume D の MT8821C フォルダに保存されています。

注意:

本器のハードディスク内のデータ損失について、当社は一切の責任を負いかねます。

3.2 更新プログラムの入手

Microsoft 社のホームページから更新プログラムをダウンロードします。
インターネットに接続可能な PC を準備して、ダウンロードしてください。

この節の説明は、すべてダウンロードに使用する PC の操作説明となります。

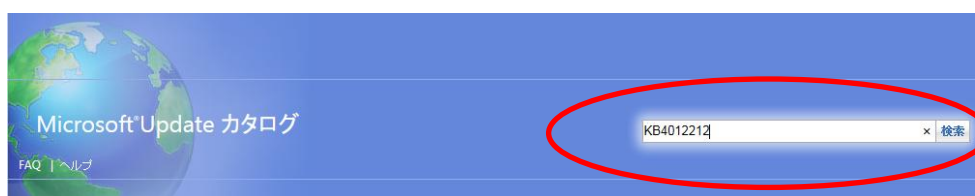
注意:

本器をインターネットに接続して、本器に直接ダウンロードしないでください。


1. 下記にアクセスし、WES7 用の WannaCrypt 対応の更新プログラムをダウンロードします。

<http://www.catalog.update.microsoft.com/Home.aspx>

下記の画面で「KB4012212」と入力して検索を実施いたします。



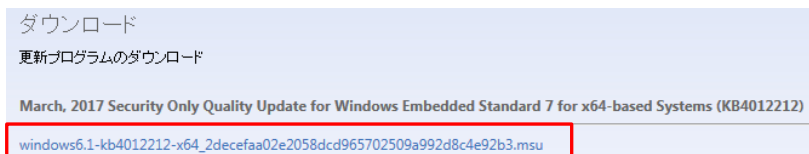
2. 下記のカatalog画面が表示されますので、「2017年3月 x64 ベース システム用 Windows Embedded Standard 7 向けセキュリティのみの品質更新プログラム (KB4012212) Windows Embedded Standard 7」の[ダウンロード]ボタンをクリックします。



タイトル	製品	分類	最終更新日時	バージョン	サイズ	
2017年3月 x64 ベース システム用 Windows 7 向けセキュリティのみの品質更新プログラム (KB4012212)	Windows 7	セキュリティ問題の修正プログラム	2017/03/28	N/A	33.2 MB	ダウンロード
2017年3月 Windows 7 向けセキュリティのみの品質更新プログラム (KB4012212)	Windows 7	セキュリティ問題の修正プログラム	2017/03/28	N/A	18.8 MB	ダウンロード
2017年3月 Windows Embedded Standard 7 向けセキュリティのみの品質更新プログラム (KB4012212)	Windows Embedded Standard 7	セキュリティ問題の修正プログラム	2017/03/28	N/A	18.8 MB	ダウンロード
2017年3月 x64 ベース システム用 Windows Embedded Standard 7 向けセキュリティのみの品質更新プログラム (KB4012212)	Windows Embedded Standard 7	セキュリティ問題の修正プログラム	2017/03/28	N/A	33.2 MB	ダウンロード
2017年3月 x64 ベース システム用 Windows Server 2008 R2 向けセキュリティのみの品質更新プログラム (KB4012212)	Windows Server 2008 R2	セキュリティ問題の修正プログラム	2017/03/28	N/A	33.2 MB	ダウンロード
2017年3月 Itanium ベース システム用 Windows Server 2008 R2 向けセキュリティのみの品質更新プログラム (KB4012212)	Windows Server 2008 R2	セキュリティ問題の修正プログラム	2017/03/28	N/A	34.5 MB	ダウンロード

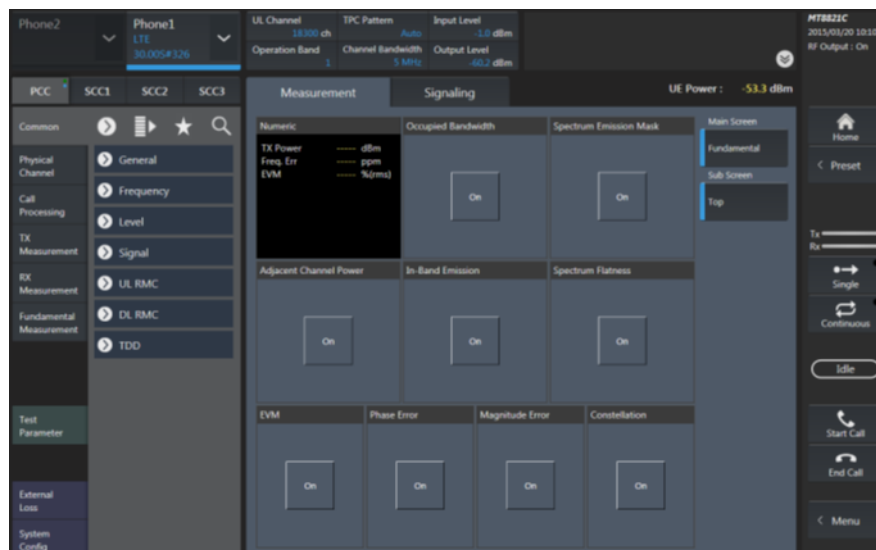
3. 下記のダウンロード画面が表示されますので、ファイル名をクリックしてファイルを PC に保存します。

PC に保存(ダウンロード)したファイルは USB メモリにコピーしておきます。



3.3 本器へのインストール準備

1. 電源スイッチを1秒以上押して本器を起動し、下記の画面が表示されるまでお待ちください。



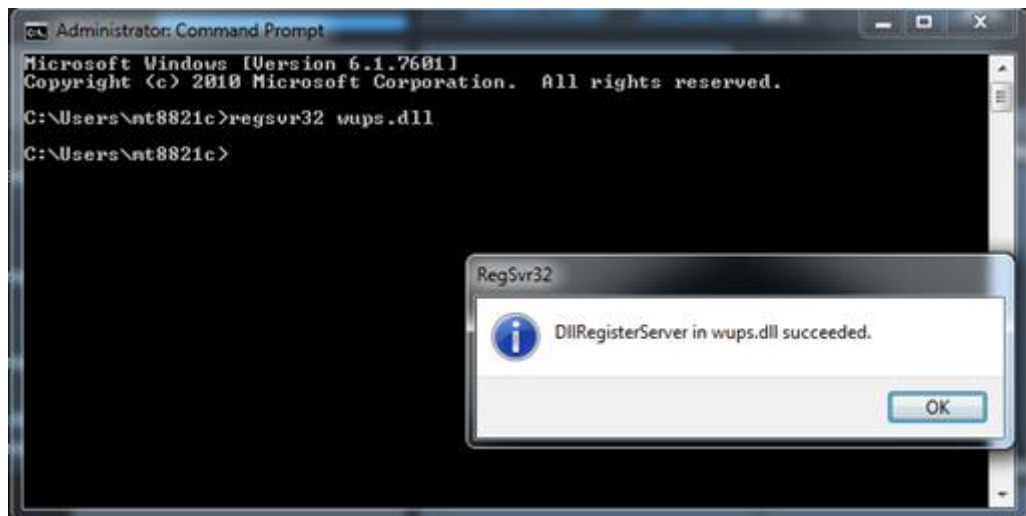
2. 測定ソフトウェアを終了してください。

Menu ボタンをタッチして Menu を開き、下記のアイコンをタッチすると Windows のスタートメニューが表示されます。



セキュリティ更新プログラムをインストールするときに、0x80070424 エラーが発生する場合があります。この問題を回避するため、セキュリティ更新プログラムをインストールする前に以下の手順でファイルを登録してください。

1. [Start]メニューをクリックし、[All Programs]/[Accessories]に移動し、Command Prompt をクリックします。
2. 下記のコマンドを実行します。
regsvr32 wups.dll
3. “DllRegisterServer in wups.dll succeeded.”と表示されたら[OK]をクリックします。



4. 下記のコマンドを実行します。
regsvr32 wuaueng.dll
5. “DllRegisterServer in wuaueng.dll succeeded.”と表示されたら[OK]をクリックします。



3.4 本器へのインストール

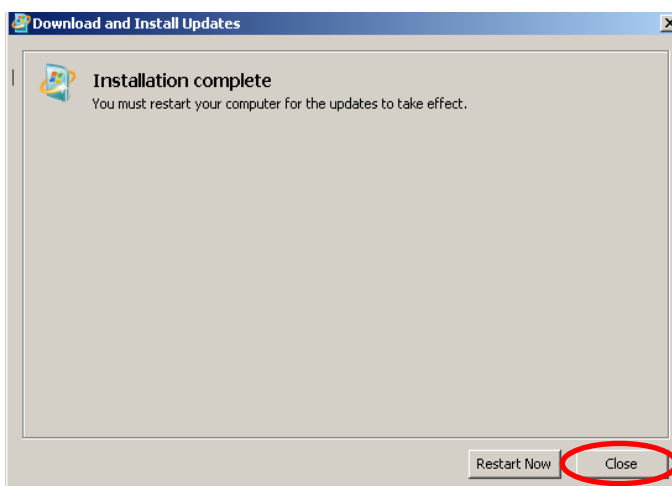
インストール作業を始める前に、お客様がご自身で本器にインストールしたソフトウェアはすべて終了してください。

1. 「3.2 更新プログラムの入手」でダウンロードしたセキュリティ更新プログラムのファイルを USB メモリにコピーして本器の USB インタフェースに装着します。
2. 本器上のアプリケーションをすべて終了し、デスクトップ上の [My Computer] をダブルクリックします。
3. USB メモリの更新ファイルを本器のデスクトップにコピーします。
コピーが完了した後は、USB メモリを取り外します。

注意:

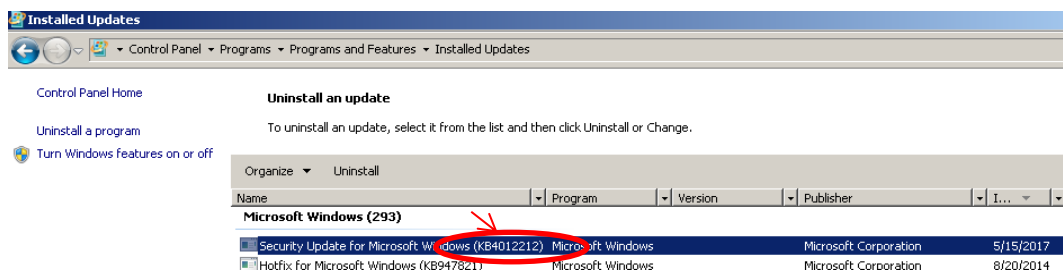
画面右下のタスクトレイの取り外しアイコンをクリックして、USB メモリの取り外し操作を実行してから、USB メモリを本器から引き抜いてください。

4. セキュリティ更新プログラムをインストールします。
デスクトップ上にコピーしたセキュリティ更新プログラムのファイルをダブルクリックします。セキュリティ更新プログラムのインストーラが起動しますので、指示に従ってインストール作業を進めてください。
5. インストール完了後、MT8821C を再起動します。
下図のようにインストーラの指示による再起動は実施せずに、電源ボタンで電源 Off にしてから再び起動してください。



3.5 インストール後の確認

1. Windows タスクバーのスタートをクリックし、[Control Panel]を選択します。
2. [Program]を選択して表示される項目から[View installed updates]を選択します。
3. KB4012212 が適用されていることを確認してください。



4. セキュリティ更新プログラムのインストールファイルを削除します。

インストール後の確認が完了すれば、本器のデスクトップにコピーしたセキュリティ更新プログラムのファイルは不要です。デスクトップから削除してください。

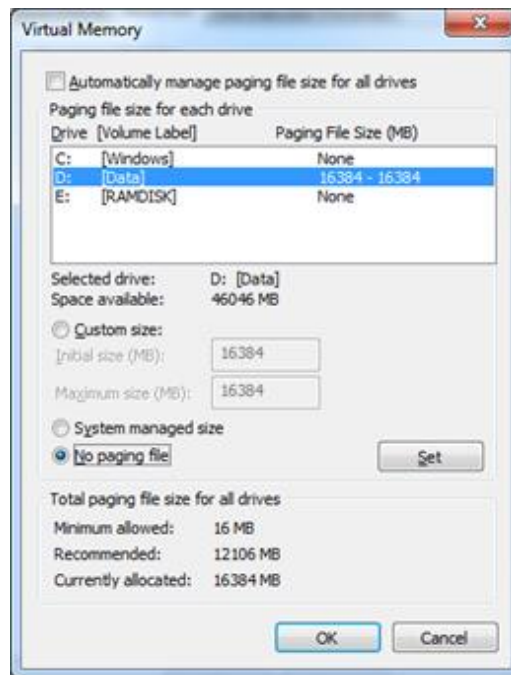
4. 本器がランサムウェアに感染している状態の場合の復旧手順

本器がランサムウェアに感染している状態の場合は、まずはシステムリカバリを実行した上で Volume D をフォーマットし、セキュリティ更新プログラムを適用してください。

注意:

システムリカバリを実行すると、工場出荷以降に追加したアプリケーションやアップデートは、すべて失われます。その他、Volume C に記録されているデータはすべて工場出荷時の状態に戻ります。実行前に必要なデータをバックアップしてください。

1. 『MT8821C ラジオコミュニケーションアナライザ取扱説明書』のメンテナンス編「10.5 ソフトウェアのリカバリ」を参照して、システムリカバリを実行します。
2. Volume D をフォーマットするために、仮想メモリの割り当てを解除します。
 - (a) システムリカバリ後、本器を起動して[Control Panel] / [System and Security] / [System]の[Advanced system settings]をクリックして[System Properties]を開きます。
 - (b) [System Properties]の[Advanced]タブの[Performance]の[Settings...]をクリックし、[Performance Options]を開きます。
 - (c) [Performance Options]の[Advanced]タブの[Virtual memory]の[Change...]をクリックし、[Virtual Memory]を開きます。
 - (d) [Virtual Memory]を Custom size から No paging file に変更し、[OK]をクリックします。



(e) 表示されるメッセージに従い、本器を再起動します。

3. Volume D をフォーマットします。

注意:

Volume D をフォーマットすると、Volume D に保存されていたファイルはすべて失われます。実行前に必要なデータをバックアップしてください。

(a) [Computer]の Volume D を右クリックして[Format...]を選択し、[Format Local Disk (D:)]を開きます。

(b) Format Local Disk (D:)の[Start]を選択し、Volume D をフォーマットします。

4. 仮想メモリの割り当てを元に戻します。

(a) 手順 2 の(a)から(c)を実施し、[Virtual Memory]を開きます。

(b) No paging file から Custom size に変更します。

(c) Initial size と Maximum size に 16384 を入力し、[OK]をクリックします。

5. 『MT8821C ラジオコミュニケーションアナライザ取扱説明書』の本体編「第 4 章 ソフトウェアのインストール」を参照して、本器の測定ソフトウェアを再インストールしてください。

6. 「3.作業方法」に従って、セキュリティ更新プログラムをインストールしてください。

5. その他・注意事項

■システムリカバリ

セキュリティ更新プログラムをインストールした後にシステムリカバリを実行した場合は、再度「3. 作業方法」にしたがって、セキュリティ更新プログラムをインストールしてください。

■お問い合わせ

本手順書に対するお問い合わせ、およびインストール作業中におけるトラブル、その他ご不明な点はサービスセンターまたはサポートセンターにお問い合わせください。

公知